
JA11. 外為法 申請者届出呼出し

業務コード	業務名
JAJ	外為法 申請者届出呼出し

1. 業務概要

外為法に基づく輸出入許可・承認等の申請に係る申請者届出情報及び該非判定責任者情報を呼び出す業務である。

- (1) 申請者情報の照会（登録区分に「R」を入力した場合）
登録済みの申請者届出情報及び該非判定責任者情報を表示する。
- (2) 申請者情報の変更（登録区分に「U」を入力した場合）
JAJO1業務を呼び出す。

2. 入力者

輸出入者

3. 制限事項

「V1」から始まるNACCS利用者IDのみ申請者届出情報及び該非判定責任者情報を登録できる。

4. 入力条件

- (1) 入力者チェック
システムに登録されている輸出入者であること。
- (2) 入力項目チェック
 - (A) 単項目チェック
「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」を参照。
 - (B) 項目間関連チェック
「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」を参照。
- (3) DB関連チェック
 - (A) NACCS利用者ID
 - ①システムに登録されている輸出入者であること。
 - ②登録区分が変更または照会の場合は、申請者個別情報DBに登録されている利用者であること。
 - ③入力者（先頭5桁）と、入力したNACCS利用者IDの先頭5桁が同じであること。

5. 処理内容

- (1) 入力チェック処理
前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-0000-0000」を設定の上、以降の処理を行う。
合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-0000-0000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）
- (2) 申請者情報取得
入力された情報をキーに申請者届出情報を取得する。
- (3) 出力情報出力処理
後述の出力情報の出力を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

5. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
外為法 申請者届出登録	区分が変更の場合	入力者

外為法 申請者届出情 報	区分が照会の場合	入力者
-----------------	----------	-----